神戸老眼大学会設立経緯

神戸老眼大学会は、昭和36年5月に神戸市が開校した「第１回神戸市老眼大学」の修了生が母体となり、神戸市教育委員会の仲立ちのもとに設立されました。

老人の豊かな経験に新知識を加え時代に即応した健康的でかつ意欲的な生活に資するということで、昭和36年10月5日に発足いたしました。

神戸市老眼大学は60歳以上の市民を受講生とすることで開設されましたが、神戸老眼大学会の会員の会費で運営する事で発足したので、修了生に限らず、60歳以上で「教養を身に見つける」「社会活動に参加」「生きがいを創造する」という目的に共鳴されて参加される人も入会することができました。

創設時のから、趣味を生かすサークル活動、バス旅行、教養を身に着けるための例会、日ごろの練習成果を発表する新年祝賀会・文化祭、高齢者を敬う会の敬老記念会等を現在も継続して運営しています。